

新潟県花き振興協議会（新潟県）

協議会構成団体：新潟県花き球根振興協議会、新潟県花木振興協議会、全国農業協同組合連合会新潟県本部、(株)新花、(株)新植、新潟県園芸協会、新潟県グリーンサービス協会、(一社)JFTD新潟支部、新潟農業・バイオ専門学校、新潟県、他

戦略品目

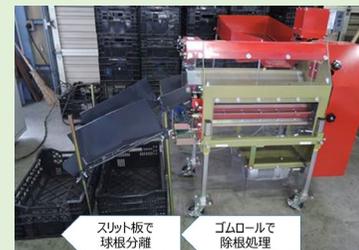
球根類：チューリップ
切り花：ユリ、チューリップ

< 取組内容 >

1 生産供給体制の強化

- チューリップ球根生産について、除根調整作業の機械化技術の実証により、球根生産の軽労化、効率化を図る。

- 既存のサトイモ毛羽取り機をチューリップ球根の除根用に改良した。機械処理後は、80%程度の子球を分離することができた。根、古皮除去は手作業での再調整が必要であったが、全手作業に比べて省力化が図られた。



改良した機械

2 流通の効率化・高度化

- 上位花蕾が開花しないことがあるユリ切り花について、品質保持剤を活用した上位花蕾の開花向上技術の実証により、ユリ切り花の日持ち性向上による需要拡大を図る。

- 品質保持剤の前処理により、上位花蕾の開花改善効果を確認できた。また、小花や切り花の日持ち期間の延長する効果も確認できた。
(6輪/本の切り花において5.5輪開花→6輪開花に改善)



左：前処理なし、右：前処理あり

3 需要の拡大

- 県産花きを使用した大型の花飾りの展示や品種の紹介、フラワーアレンジメントのデモンストレーション等の実施、並びに、Live配信・動画配信を通じて、県産花きの魅力を広くPRし、花きの需要拡大を図る。

- 日本の伝統家屋に大型の装飾や展示品種の紹介、フラワーアレンジメントのデモンストレーション等を実施し、来場者（計717名）、動画視聴者（再生計4504回）に県産花きや花文化、秋の花の楽しみ方を伝え、花のある暮らしの魅力を広くPRした。



アレンジメントのデモンストレーション

< 今後の取組予定 >

- 実証した品質保持・開花技術の普及を進め、県産花きの品質向上・安定供給につなげる。
- 各種イベント開催を通じて、花のある暮らしを提案し、家庭での花き需要の拡大に取り組む。

石川県花き振興地域協議会（石川県）

協議会構成団体： 石川県花き園芸協会、金沢総合花き株式会社、株式会社花市場、石川県花商事協同組合、金沢公設花き小売組合、石川県生花小売商協同組合、北陸園芸商組合、（一社）JFTD石川支部、（公社）NFD石川県支部、全国農業協同組合連合会石川県支部、金沢市公設花き地方卸売市場、石川県農林水産部

戦略品目
切り花：



エアリーフローラ（フリージア）



切り花葉ボタン

< 取組内容 >

1 生産供給体制の強化

- ・エアリーフローラにおける露地での球根栽培実証

→これまで、ハウス内で行っていた球根養成を露地でも可能にするための栽培実証を実施した。

- ・フリージアの冷蔵促成栽培に必要な成球を露地で簡易に効率的に増殖することができるようになった。
- ・球根の露地栽培方法や管理方法についてマニュアルを100部作成し、県内のエアリーフローラ生産者に配布した。



球根の露地栽培の様子

2 流通の効率化・高度化

- ・切り花葉ボタンにおける鮮度保持実証

→収穫期直前の追肥が花の鮮度保持に及ぼす影響についての調査を実施した。

- ・実証の結果、11月下旬と12月上旬（収穫日の1週間前）に液肥（液肥2号300倍）を噴霧すると品質が保持されることが分かった ※追肥による色戻りは見られなかった。
- ・実証結果マニュアル化し、100部作成。県内の葉ボタン生産者に配布した。



追肥条件と鑑賞日数が葉色に及ぼす影響

3 需要の拡大

- ・金沢港クルーズターミナルでの県産花きのPR

→県産花きのPRと販売促進を目的に、県産の「エアリーフローラ（フリージア）」、「切り花葉ボタン」、「ストック」等を使用して、石川県のマスコットキャラクターである「ひやくまんさん」のオブジェの制作・展示を行った。

- ・観光スポットである、「金沢港クルーズターミナル」にオブジェを展示したことで、石川県産の花が、多くの人の目に触れ、認知度向上を図ることができた。
- ・エアリーフローラの公式インスタグラムへの投稿も多く、「エアリーフローラという花を初めて知った。買いたい！」等の意見があった。



県産花きオブジェの展示

< 今後の取組予定 >

- ・戦略品目である「エアリーフローラ」と「切り花葉ボタン」のさらなる知名度向上のため、県内外への消費拡大プロモーションイベントを実施する。

福井県花き連絡協議会（福井県）

協議会構成団体：県内各花き生産組織、福井中央花卉市場、花一（仲卸）、福井県花商協同組合（小売）、福井県華道協会、日本フラワーデザイナー協会福井県支部、ふくい園芸福祉研究会、日本生花通信配達協会福井県支部、フジテレビフラワーネット福井県支部、福井県農林水産部、JA福井県

戦略品目
切り花：キク

< 取組内容 >

1 生産供給体制の強化

- ハダニ類やアザミウマ類に加え、発生が増加している白さび病発生軽減にも視点を置き、新品種の選定と栽培実証に取り組む。

- 赤3品種、白2品種、黄2品種、計7品種を選定した。
- ハダニ、アザミウマ類、白さび病にかかる農薬の一部を削減することができ、生産コストは、4.1%減となった。



選定された品種



生産者を交えた圃場巡回

2 流通の効率化・高度化

- キクにおいて切花品質保持剤、鮮度保持包装材による日持ち性向上の効果を調査する。

- 品質保持剤を用いることで日持ち日数が2～3日延長され、葉の黄化程度も軽減された。
- 取り組んだ生産者の平均出荷本数は、3.8%上昇した。



鮮度保持包装材の処理



切花品質保持剤の処理

3 需要の拡大

- 10月11日に福井県総合グリーンセンターで開催されたみどりと花の県民運動大会において、戦略品目の県産花きを用いたフラワーアレンジや寄せ植え体験を開催し、花の魅力や楽しみ方を伝えることで消費拡大プロモーション活動を行う。

- イベント実施後に購買意欲が喚起された参加者数を調査したところ、参加者のうち88.8%となり、県産花きの利用促進が啓発された。



花育体験の様子

< 今後の取組予定 >

- 近年発生が増加している褐斑病、黒斑病病軽減に視点を置いた品種選定、栽培技術実証を行う。
- コスト低減可能な品質保持剤、鮮度保持包装材について、調査・実証する。
- 新たな需要の創出・拡大に向け、消費拡大プロモーション、花育活動を実施していく。